

# 果樹園でのドローンによるカラス追払いの効果

福島県農業総合センター 企画経営部 企画技術科

## 1 部門名

果樹—その他—その他

## 2 担当者名

廣瀬允康

## 3 要旨

果樹園でのカラス類対策は、防鳥ネットやテグスなどによる防除対策が一般的であるが、多くの労力を必要とする。そこで、ドローン（251×362×72 mm 及び 245×289×56 mm）によるカラス類の追払いを実施したところ、カラス類の飛来数が減り、果実の被害が軽減することを確認した。

- (1) 南会津町のリンゴ園地（82a）でのカラス類の飛来を多く確認した時期（8月上旬）において、8時～17時の間、1時間おきにドローンによる追払いを実施した。ただし、通信型センサーカメラによりカラス類を確認した場合は、1時間空けずに追払いを実施した。
- (2) (1)を繰り返し実施したところ、飛来数については増減はあるものの、実施前より減少し、果実被害も大きく増加することはなかった。
- (3) 数日間追払いを実施すると、ドローンに「慣れ」てしまう個体が発生することから、他の対策との併用が必要である。

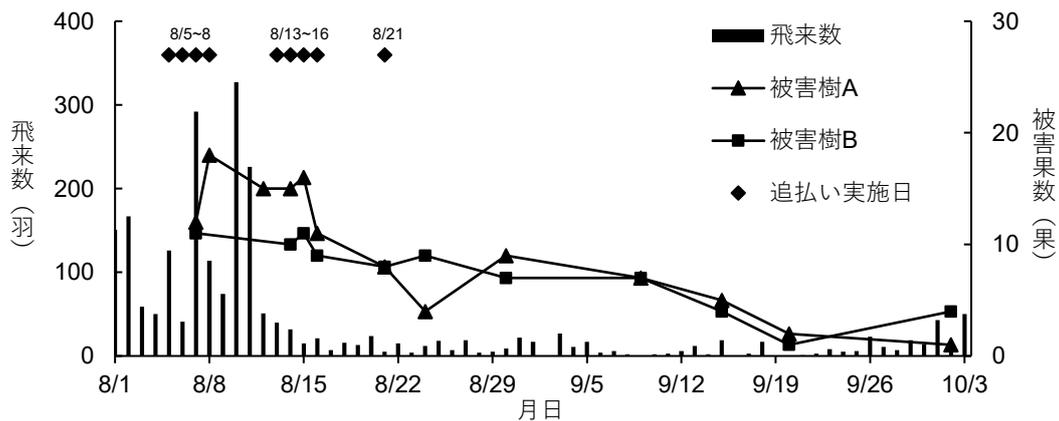


図1 ドローンによるカラスの追払いと日別飛来数及び被害果数（2025年南会津町、リンゴ園）  
※ 被害樹Aの品種は「もりのかがやき」、被害樹Bの品種は「おいらせ」。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和6～7年度
- (2) 研究課題名 野生鳥獣害対策技術の確立〔中山間ふるさと水と土保全基金〕

## 5 主な参考文献・資料

板井 章浩,スマート農業を利用したカラス被害軽減方法の開発,果実日本,77,p.45-49, 2022.